

令和3年度 両荘中学校 自己評価

A できている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

領域	評価項目	評価	自己評価の顕著な結果・意見等	学校関係者からの意見	改善策
学力向上	「学習意欲を高めるためのわかる授業づくり」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9割の生徒が学校生活を楽しいと感じ、落ち着いて学習に取り組んでいるようである。学習環境にも満足しているようである。</li> <li>・よりわかる・できる授業を行うために、教材研究を深める。</li> <li>・グループごとの授業研究やお互いの授業を参観する授業研究週間を設け、授業力の向上に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での生活習慣に問題があるのではない。</li> <li>・Chromebookで学習状況を共有することはできない。</li> <li>・補習と同じように、家庭学習も友達がやっているとやる気が出るのではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科で教材研究で参考にした資料を紹介しあう。</li> <li>・授業研究に取り組み、外部の方から指導助言をもらえるような場を設ける。</li> <li>・Chrome bookを活用し、効率的な学習活動を行う。</li> </ul>
	「自主的・主体的な学習習慣と基礎学力のための家庭学習の定着」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活習慣の定着と、学校と家庭が連携して子どもたちを支援していく。</li> <li>・Chrome bookを活用し、ドリルパークによる復習や調べ学習等を行い、自主的な学習や基礎学力の定着を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ・パソコン等の使用時間の管理が難しい。(スマホを取り上げても家庭学習の時間には変化がない)</li> <li>・子どもたちにスマホ、パソコン使用についてのアンケートを行い、その実態を子どもたち、保護者、学校で共有していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に家庭学習を行うための支援を引き続き行う。</li> <li>・通信やChromebook等を用い、生徒に情報発信をしていく。</li> </ul>
規律ある生活	「望ましい生活習慣の育成」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも8割以上の生徒が規則正しく生活できていると回答している。</li> <li>・「あいさつ」や「決まりやマナーを守ること」は生徒・教職員共にほぼ定着している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルサポーター・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携を継続する。</li> <li>・生徒指導不登校対策委員会、主任会等を通して教職員の共通理解を図り、生徒支援を行う。</li> </ul>
	「生徒理解と信頼関係づくりのための相談活動や個別指導の充実」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が上がるにつれて相談できる先生がいる生徒の割合が低くなっている。</li> <li>・教育相談活動やアンケート等により、より深い生徒理解に努めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信等を用いて、学校の様子を発信する機会を増やす。</li> <li>・教育相談活動やアンケート等による生徒理解を継続して行う。</li> </ul>
	「行事や部活動による良好な人間関係づくり」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度よりも感動した学校行事があったと回答する生徒が増加している。</li> <li>・部活動は楽しいと感じている生徒が多数である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の行事の日程やお弁当の必要な日を早めに連絡してほしい。</li> <li>・学校の連絡を確実に伝えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度以降充実した取り組みを保護者に参加していただく機会を設ける。</li> </ul>
豊かな心・環境	「道徳の授業と人権教育」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権感覚や道徳観を身に付けている生徒が多い。</li> <li>・研究授業を実施し、道徳の授業力向上に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳のローテーション授業は引き続き行ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育・道徳教育の計画の見直しを行う。</li> <li>・人権教育、新しい人権課題(LGBTQ等)の教職員研修を充実させる。</li> </ul>
	「心和む美しい学校を目指した環境づくり」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの生徒が学校は楽しいと考え、他人のために行動したり困っている人を助けようとしていたりすることができている。</li> <li>・生徒・教職員全員が美しい学校になるように努めている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人が輝ける機会を学校生活の中でつくる。</li> <li>・行事の後の振り返りを共有させ自分の力を発揮したことを確認させる。</li> </ul>
信頼される学校	「学校生活の公開と広報活動の充実」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導の実践を行っている。</li> <li>・保護者が相談しやすい雰囲気作りが必要である。</li> <li>・コロナ禍で保護者や地域の方々に来校していただく機会がほとんどなかったことが残念であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子や取り組みが保護者や地域に伝わりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動を充実させ配布物配布内容等をメール等を活用し配信する。</li> <li>・PTA総会、新入生説明会等において学校の方針等を保護者に詳しく知らせる。</li> </ul>